

# 医学博士のメデイカル・コラム 病気が教えてくれるもの

医療法人

きむら内科クリニック TEL 044(981)6617

麻生区五力田2-14-6

きむら内科クリニック 麻生区 検索

## 第44回 「正しさの基準」

テレビや新聞、インターネットによる報道や情報は鶏呑みにし、そのまま信じてしまう人は多い。何故なら、それが「公的に発せられた情報」であるから、疑うことなく心の中に丸ごと「真実」として格納する。「だって、ニュースでやっていたから…。」「ネットに書いてあったから…。」

そして、「それが社会的な合意だろう」という多数決の原理が一旦働くと、他の人と同調しない「異端分子」を、問答無用で排除しようとする社会風潮まで生まれる…。愚かである。

果たして現代のマスメディアは、盲信するほどまでに公明正大か？「一般常識」「当たり前」「通説」「皆がそうしている」という既成概念ほど人生に大きな影響を与えるものはない。何故なら、「一般常識」と考えているものは、もはや「真偽」「善悪」「美醜」のフィルターを通過することなく、フリーパスで重要な判断や決断の根拠になり、それが日々の行動へと繋がっていくからだ。果たして、盲信しているその「一般常識」

は本当に「真理」なのか？

決して、全てを疑ってかかるように勧めている訳ではない。正しく価値のある情報もある。けれど、情報を検閲するための真なる「正しさの基準」が分からないのなら、盲信して直ぐに「懐」に入れてしまう前に、「可能性」で留めておく努力も必要ではないか。

「正しさの基準」は“世の中の風潮”にあるのではない。各人の透明無私な心の中にこそ存在する。そこだけは誰にも侵されることのない聖域だ。そこに「一般常識」や「自我」が入る余地はない。そしてじっくり考えてみたい。「その考え」が、「真・善・美」に照らして、どれだけ多くの人々を幸福にし、未来に生きる人々にも希望を与えるものであるのかを。“常識”になるべき「正しさの基準」はそこにある。

### 医学博士 木村謙介

北海道大学医学部卒。慶應義塾大学医学部循環器内科専任講師などを歴任。

米カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部留学、最先端の基礎医学と豊富な臨床経験を持つ。「大きな病気を発症する前にその芽を摘み取る方が医療レベルは高いはず」の信念で2012年、きむら内科クリニックを開設。

